

【目次】

2	……………	全中 3 位（卓球部）
3～5	……………	2022 年度中学県総体
6	……………	2022 年度四国中学総体
7	……………	2022 年度全国高校総体
8	……………	2023 年度中学地区大会
9～12	……………	2023 年度高校県総体
13	……………	2023 年度高校四国総体
14～16	……………	文化部、その他課外活動
17	……………	卒業生も活躍しています
18	……………	牧野博士、本借りに土佐女子へ
19～24	……………	各部活動 その他大会実績
	……………	部活動一覧

全国中学大会



明德男女と土佐女決勝T

卓球

▽女子団体1次リーグ

〔H組〕

土佐女 3-2 札幌大谷
北海道

土佐女 5-0 東部
茨城

【順位】①土佐女2勝1決
トーナメント進出

2022年(令和4年)8月21日

明德男子、土佐女4強

▽女子団体準々決勝

土佐女 3-1 益田
島根

石川実 3-2 大東
大崎

松本 3-0 村上
山形

石川愛 0-3 山上
山形

八木 3-2 岸
山形

2022年(令和4年)8月22日

▽女子団体準決勝

四天寺 3-2 山陽学園
岡山

貝塚 3-0 土佐女
岡山

倉嶋 3-2 石川実
石川

竹谷 3-0 松本
石川

深山 3-0 八木
石川

2022年(令和4年)8月23日

土佐女強豪の自信取り戻す

準優勝した2006年
以来の準決勝に挑んだ土
佐女。貝塚二にストレ
ト負けを喫したが、随所
に粘りを見せて堂々の3
位。選手らは「これで満
足しちやいけない」とさ
らなる飛躍を誓った。
今春の全国選抜優勝校
に食いつがった。第1単
はエースの石川実。威力
のあるショットに押さ
れ、1、2ゲームを落と
したが、「強いのは分かっ
てる。へこまない」。こ
から真骨頂を見せた。
3、4ゲームを連取し
て追い付くと5ゲームも
一時は9-7でリード。
そこから逆転負けを喫し
たものの、「よく踏ん張っ
た。粘り強い彼女の良さ
が最後に出た」と浜田監
督もたたえざる好ゲームだ
った。0-3で敗れた複
の石川愛・八木組も1、
2ゲームは接戦だった。
県内では明德を追う立
場を強いられてきたが、
「全国でもやれると確信
を持てた」と浜田監督。
主将石川実は一強豪相手
でも気持ちで向かってい
けばもつとやれた。もっ
と目標を高く持てばよか
ったと悔やむ。16年ぶ
りの舞台に立ち、「強豪土
佐女」の自信を取り戻し
た夏になった。
(五十嵐隆浩)

2022年(令和4年)8月23日

雪辱で16年ぶり舞台 土佐女

準々決勝で対戦した益田(島根)は昨年
の決勝トーナメント1回戦で敗れた相手。
当時のメンバー4人が残る土佐女は「リベ
ンシする」と奮闘。準優勝した2006年以
来の4強入りを決めた。
エース対決となった第1単。激しいラリ
ーの応酬となったが、主将石川実は「絶対
に負けない」と一歩も引かず、1ゲームを
先取。ジュースが長く続いた2ゲーム目を
20-22で落としたものの、「まだ1-1」と
気持ちを切り替え、3、5ゲームを奪取。
3-2で競り勝った。
「この勝ちが大きかった」と浜田監督。
第2単の松本が3-0で勝ち、第3単西岡
琉も3-2で競り勝ち、雪辱を果たした。
「気持ちで勝てた。次も気持ちで向かって
いく」と石川。勢いを得て16年ぶりの舞台
に挑む。
(五十嵐隆浩)

2022年(令和4年)8月22日

▽同シングルス1回戦

西岡琉夏 3-1 坂本陽菜
兵庫・湊

石川実鈴 3-1 小野娃未
流

土佐女 3-1 天分・長
洲

庄司野乃 3-1 西岡緩夏
土佐女

佳手・姥 3-1 土佐女
屋敷

▽同2回戦

山田杏璃 3-0 西岡琉夏
北海道・門別

山田楓花 3-1 松本結鶴
静岡・浜

松修実音 3-1 土佐女
静岡

石川実鈴 3-0 幾島ゆう
か(東京・武蔵野)

▽同3回戦

中野優里 3-2 石川実鈴
奈(福井・大東)

東

2022年(令和4年)8月22日

県中学総体

卓球

2022年(令和4年)7月3日

▽女子団体予選
 ▼同C組1回戦 仁淀3-1
 2西部▽2回戦 土佐女3-1
 0中村▽羽根3-2仁淀▽代表決定戦 土佐女3-0羽根

▽決勝リーグ
 明徳 3-0 香長
 土佐女 3-0 付付
 明徳 3-0 付付
 土佐女 3-0 付付
 明徳 3-0 付付
 土佐女 3-0 付付

【順位】①明徳(渡辺、竹本、青野、立川、石井、小橋、吉田、駒瀬) 3勝②土佐女 2勝1敗③付付 1勝2敗④香長 3敗

(明徳は12年連続17度目の優勝)

2022年(令和4年)7月18日

▽個人総合 ①久野杏莉(土佐女) 31・55点(クラブ15・05、リボン16・50) ②的場(高知) 31・55点③西原(同) 28・60点

※同点は実施点による
 競技終了

新体操

久野(土佐女) V

2022年(令和4年)7月4日

▽女子シングルス準々決勝
 松本(土佐女) 3-0 小橋(明徳) ▼吉田(明徳) 3-1
 2石井(明徳) ▼竹本(明徳) 3-0 石川実(土佐女)
 ▼立川(明徳) 3-1 西岡琉(土佐女)

▽準決勝
 吉田 3-2 松本
 立川 3-1 竹本

▽決勝
 立川 3-1 吉田

競技終了

2022年(令和4年)7月10日

▽女子団体1回戦 土佐山 2-0 介良 ▼城東 2-1 南海
 ▼2回戦 香長 2-0 土佐山 ▼伊野 2-1 学芸 ▼土佐女 2-0 本川 ▼土佐 2-0 県安
 芸 ▼宿毛 2-1 一宮 ▼春野 2-0 大豊 ▼鏡 2-0 大川 ▼伊野南 2-0 城東

▽準々決勝 伊野 2-1 香長 ▼土佐女 2-0 土佐 ▼春野 2-0 宿毛 ▼伊野南 2-0 鏡

▽準決勝
 土佐女 2-0 伊野
 春野 2-0 伊野南

▽決勝
 春野 2-0 土佐女
 安岡 2-0 中島
 浜口梨 2-0 石井
 浜口紗 2-0 木山

(春野は5年ぶり4度目の優勝)

バドミントン

土佐塾、土佐女V



女子団体が初優勝した土佐女。左から坂口、片岡、久保田

▽女子団体予選(36射)
 ①土佐D 16中 ②土佐女A 14中
 ③土佐B 12中 ④国際B 11中 ⑤
 土佐塾、国際C 10中 ⑦土佐A
 9中 ⑧国際D 7中 ⑨土佐C、
 県安芸、高知6中 ⑫県中村5
 中 ⑬国際A 4中 ⑭土佐女B、
 土佐E 0中
 ▽準決勝(12射)
 国際 B 4-3 土佐 D
 土佐女 A 4-3 土佐 B
 ▽決勝(12射)
 土佐女 A 国際 B
 (坂口2、加藤1、
 片岡3、藤原2、
 久保田1) 江渕2
 (土佐女は初優勝)
 ▽同個人(12射) ①松下
 舞美(土佐塾) 7中 ②江渕
 (国際) 6中 ③森田(土佐)
 6中
 ※同中は遠近競射による
 競技終了

2022年(令和4年)7月19日

2022年(令和4年)7月23日

▽女子シングルス準々決勝
 田口(土佐) 6-2 久川(土佐女)
 ▽同ダブルス準決勝
 王高伊 王笠島
 佐橋脇 佐井内
 6-1 6-4
 王小山 清弘佐
 佐林本 水田藤

2022年(令和4年)7月22日

テニース
 ▽女子団体1回戦 学芸4
 1-高知
 ▽準決勝
 土佐女 3-2 土佐塾
 土佐 5-0 学芸
 ▽決勝
 土佐女 4-0 土佐女
 北川 6-0 近井
 松岡 6-3 久川
 田口 6-0 平岡
 笠井 6-3 小林
 土佐は3年連続7度目の優勝

ソフトテニス

▽女子団体決勝リーグ

土佐女 2-1 春野
 中村西 3-0 中野
 中村西 2-1 土佐女
 春野 3-0 中野
 中村西 2-1 春野
 土佐女 3-0 中野
 【順位】①中村西(加用、山本、沢田、藤元、松野下、今井、松本、山岡) 3勝②土佐女 2勝1敗③春野 1勝2敗④中村西 3敗

2022年(令和4年)7月22日

▽女子個人準決勝

山加 本用 4-1 岡部堀こ
 西北 内原 4-1 植野藤
 山加 本用 4-3 西北内原
 ※決勝
 ※競技終了

2022年(令和4年)7月23日

バレーボール

▽女子1回戦
 土佐女 2-0 佐川
 ▽2回戦
 土佐女 2-0 西部

2022年(令和4年)7月22日

▽女子準々決勝
 土佐女 2-0 中村

▽準決勝

土佐女 2 (25 25) (21 15) 0 香長

▽決勝

土佐女 2 (25 25) (20 17) 0 高知
 (土佐女は56年ぶり4度目の優勝)
 ※競技終了

2022年(令和4年)7月23日

水泳

400リレー 土佐、土佐女制す

【女子】

▽50m自由形 ①森田紗矢(旭) 28秒06 ②山中(土佐) 28秒40 ③伊藤(学芸) 29秒37
 ▽200m自由形 ①栗山陽菜(土佐女) 2分12秒57 ②浜渦(城東) 2分13秒76 ③宮崎(国際) 2分23秒70
 ▽800m自由形 ①大坪奈央(土佐塾) 9分52秒20 ②吉川(一宮) 10分16秒28 ③中嶋(窪川) 10分54秒28
 ▽200m背泳ぎ ①西之内花音(旭) 2分34秒69 ②田村(窪川) 2分43秒65
 ▽200m平泳ぎ ①野中彩衣(香長) 2分52秒39 ②中村(春野) 2分55秒79 ③中嶋(国際) 2分56秒38
 ▽200mバタフライ ①中川理都子(朝ヶ丘) 2分34秒72 ②岡崎(佐川) 2分40秒40 ③中石(土佐塾) 2分57秒96
 ▽400m個人メドレー ①松本寧音(土佐) 5分48秒88 ②谷(城東) 6分55秒77
 ▽400mリレー ①土佐女(松井、島田、栗山、小笠原) 4分25秒31 ②土佐 4分41秒61 ③窪川 4分45秒18

2022年(令和4年)7月22日

【女子】

▽100m自由形 ①ローリー仁愛(春野) 1分3秒42 ②山中(土佐) 1分4秒00 ③高橋育(付属) 1分5秒92
 ▽100m背泳ぎ ①西之内花音(旭) 1分9秒55 ②西之内鈴(同) 1分10秒86 ③久保(伊野) 1分12秒63
 ▽100m平泳ぎ ①栗山陽菜(土佐女) 1分15秒03 ②中嶋(国際) 1分21秒56 ③岡村(窪川) 1分22秒62
 ▽100mバタフライ ①森田紗矢(旭) 1分6秒92 ②中川(朝ヶ丘) 1分7秒62 ③中石(土佐塾) 1分20秒11
 ▽200m個人メドレー ①西之内鈴音(旭) 2分34秒03 ②野中(香長) 2分34秒87 ③中村(春野) 2分39秒68
 ▽400mメドレーリレー ①土佐女(島田、栗山、小笠原、西森) 5分10秒75 ②窪川 5分11秒43 ③土佐 5分16秒73
 ▽対校得点 ①土佐女 67点 ②窪川 62点 ③土佐 59点
 (土佐女は11年連続28度目の優勝)

2022年(令和4年)7月23日

四国中学総体

ソフトテニス

▽女子団体1回戦
(愛) 3-0 土佐女 北郷

2022年(令和4年)8月7日

バドミントン

▽女子団体1回戦
藍住(徳) 3-0 土佐女

2022年(令和4年)8月9日

新体操

個人総合
⑩久野(土佐女) 31・25点

2022年(令和4年)8月7日

バレーボール

▽女子1回戦
木太(香) 2-1 土佐女

2022年(令和4年)8月7日

水泳

▽200メートル自由形 ①井川愛心(徳島) 2分10秒43 ③栗山(土佐女) 2分11秒52 ⑥浜渦(城東) 2分14秒28
▽100メートル平泳ぎ ①栗山陽菜(土佐女) 1分14秒02
▽400メートルリレー ①久米(愛) 4分17秒42 ⑥土佐女(島田、西森、栗山、松井) 4分35秒68
▽400メートルメドレーリレー ①付属坂出(香) 4分41秒88 ④土佐女(島田、栗山、松井、西森) 5分5秒25 ⑥窪川(田村、岡村、中嶋、中平) 5分17秒10
▽学校対抗 ①付属坂出57点 ④土佐女30点 ⑦旭23点
(付属坂出は11年ぶり2度目)

2022年(令和4年)8月9日

卓球

明德男女と付属土佐女が準決へ
▽女子団体予選リーグ之組
①土佐女2勝②藍住東(徳)1勝1敗③津島(愛)2敗
※各組2位までが決勝トーナメント進出
▽決勝トーナメント1回戦
明德 3-1 藍住東
北島 3-1 角野
土佐女 3-0 三加茂
今日日吉 3-0 豊中

2022年(令和4年)8月9日

土佐女も全中へ

▽女子団体準決勝
明德 3-0 北郷
土佐女 3-1 今治日吉(愛) 媛媛
▽代表決定戦
今日日吉 3-2 北郷
▽決勝
明德 3-0 土佐女
竹本 3-0 石川実
立川 3-0 西岡緩
石井 3-0 八川愛木
小橋 3-0 八木
(明德は2年連続17度目の優勝)
▽個人代表決定戦 駒瀬(明德) 3-0 中川(愛・美川) 西岡緩(土佐女) 3-0 宮崎(香・香東)
▽準々決勝 立川(明德) 3-1 石井(明德) ▼竹本(明德) 3-0 西岡琉(土佐女) ▼松本(土佐女) 3-1 小橋(明德) ▼吉田(明德) 3-1 石川実(土佐女)
▽準決勝
立川 3-2 竹本
松本 3-2 吉田
▽決勝
松本 3-1 立川
11111 911
7611118
2立川
|| 競技終了

2022年(令和4年)8月10日

県中学総体 各地区大会

バドミントン

▽女子団体準決勝 土佐女
2-0土佐山▽横内JBC2
1-0春野
▽決勝
土佐女 2-1 横内JB
松野 2-0 立石夕
矢野 2-0 角田
松田 0-2 田中千
浜田 0-2 田中千
森 2-0 立石光
久武 2-0 田中心
※学芸、鏡、城東、城北、
愛宕、土佐も県体出場
▽同シングルス準決勝 仮
屋(大津) 2-0久保(潮
江)▽大平(朝倉) 2-0浜
野(横浜)
▽決勝
仮屋 2(21-12)19 0大平
▽同ダブルス準決勝 矢野
・松田(土佐女) 2-1露谷
・細川(二宮)▽田中千・田
中心(横内JBC) 2-0中
川・西森(鏡)
▽決勝
松野 2 1 田中心
矢野 21 21 18 16 11 21 1 田中心

2023年(令和5年)6月5日

卓球

▽女子団体準決勝 土佐女
3-1土佐旭3-0城西
▽決勝
土佐女 3-0 旭
松本結 3-0 高野
西岡 3-0 川崎
清浜 遠村 3-2 安光歩
3-2 安光歩

2023年(令和5年)6月11日

▽女子シングルス準決勝
松本結(土佐女) 3-0 浜村
(土佐女)▽西岡(土佐女) 3-1
1川崎(旭)
▽決勝
松本結 3 11 11 11 11 4 6 7 0 西岡

2023年(令和5年)6月13日

ソフトテニス

▽女子個人準決勝 瀬戸・
川崎(土佐女) 4-0 島本・岡
田結(城北)▽小笠原・谷岡(付
属) 4-1 岡部玲・山本(春野)
▽決勝
川瀬 4-3 小笠原
崎戸 谷岡

2023年(令和5年)6月13日

バレーボール

▽女子準決勝 土佐女 2-1
0学芸▽青柳・高知 2-0 愛
宕
▽決勝
青柳・高知 2 25 21 25 1 土佐女
25 21 25 17 21 25 17 1 土佐女
※女子の潮江、朝倉、横浜、
旭、西部、城北も県体出場

2023年(令和5年)6月19日

新体操

▽個人総合 ①久野杏莉
(土佐女) 31.70点(フープ14・
10、リボン17.60)②中沢(土佐
塾) 29.75点③北村(土佐女) 29
・25点
▽種目別1位 フープ①中
沢凛乙(土佐塾) 16.75点▽リ
ボン①久野杏莉 17.60点

2023年(令和5年)6月13日

陸上

▽100m 1年 下元玲奈(土
佐女) 14秒40▽同2年 中川
あおい(城北) 13秒72▽同3年
山本憩佳(土佐塾) 13秒35▽
▽総合 ①付属 59点②土佐
女 44点③城北 38点

2023年(令和5年)6月13日

県高校体育大会

ソフトテニス

▽女子団体1回戦 高知商
 3-0 春野▼岡豊2-1 追手
 前▼土佐2-1 高知農▼小津
 2-1 学芸
 ▼準々決勝 中村2-1 高
 知商▼岡豊2-1 土佐女▼明
 徳3-0 土佐▼幡多農3-0
 小津

2023年(令和5年)5月21日

バドミントン

土佐女V3

▽2回戦 土佐女3-0 小
 津▼追手前3-0 明德▼須崎
 総3-2 幡多農▼中央3-0
 宿毛▼岡豊3-0 中村▼国際
 3-0 丸の内▼高知農3-1
 土佐塾▼土佐3-2 学芸
 ▼準々決勝 土佐女3-0
 追手前▼中央3-1 須崎総▼
 岡豊3-1 国際▼土佐3-0
 高知農
 ▼準決勝
 土佐女3-0 中
 岡 豊 3-2 土
 佐 豊 3-2 中
 ▼3位決定戦
 土 佐 3-2 中
 ▼決勝
 土佐女 3-0 岡
 山 脇 2-1 伊
 安 岡 2-1 藤
 利 根 2-0 池
 西 森 2-0 市
 呉 田 2-0 北
 (土佐女は3年連続46度目の優勝)

2023年(令和5年)5月21日

山脇・安岡(土佐女)V

▽女子ダブルス準々決勝
 山脇・安岡(土佐女) 2-0
 渡辺・浜口(土佐女)▼岡本
 ・高橋(高知商) 2-0 猪原
 ・野波(学芸)▼坂本・田中
 (土佐) 2-0 伊藤・山本
 (岡豊)▼利根・西森(土佐
 女) 2-0 森沢・土居(中
 央) 2-0 森沢・土居(中
 央)
 ▼準決勝
 山脇 岡脇 2-0 高岡 橋本
 西利 森根 2-1 田坂 中本
 ▼3位決定戦
 田坂 中本 2-0 高岡 橋本
 ▼決勝
 安山 岡脇 2-0 西利 森根
 21 21 20 2
 15 19 22 1
 1 西利 森根

2023年(令和5年)5月22日

▽女子シングルス準々決勝
 伊藤(岡豊) 2-0 利根
 (土佐女)▼森沢(中央) 2
 1-0 西本(伊野商)▼山脇
 (土佐女) 2-1 西森(土佐
 女)▼田中(土佐) 2-0 渡
 辺(土佐女)
 ▼準決勝
 伊藤 藤 2-1 森
 山脇 脇 2-0 田中 沢
 ▼3位決定戦
 田中 2-0 森
 ▼決勝
 伊藤 藤 2-1 山脇
 21 21 13 17 0 山脇
 15 19 22 1 沢
 競技終了

2023年(令和5年)5月23日

空手道

▽同個人形予選1回戦1組
 ①宮地(明德) 24・66点②
 横田(佐川) 22・14点③柳川
 (土佐女) 21・68点④浜田新
 (明德) 21・20点▼2組 ①
 安藤(土佐) 24・00点②上甲
 (宿毛工) 23・70点③浜田聖
 (明德) 22・16点④貝川(同) 22
 ・00点
 ※各組4位までが2回戦進
 出
 ▼同2回戦1組 ①宮地 24
 ・06点②横田 21・74点③柳川
 20・88点④浜田新 19・88点▼
 2組 ①上甲 23・92点②安藤
 23・40点③浜田聖 21・54点④
 貝川 20・80点
 ※各組1位は決勝、2位は
 3位決定戦進出

2023年(令和5年)5月21日

弓道

▽女子個人決勝 ①川村優
 果(土佐) 9中②萩野(土佐
 女) 9中③栗(国際) 8中④
 大石(土佐塾) 8中⑤井村
 (同) 8中⑥前川(同) 8中
 ※同中は射詰競射による

2023年(令和5年)5月21日

土佐女は3年ぶり

▽女子団体予選(40射) ①
 土佐女 23中②土佐塾 20中③土
 佐、安芸 18中⑤山田 16中⑥高
 知 15中⑦追手前、高知工 13中
 ⑨岡豊、東 12中⑩国際 11中⑫
 丸の内 10中⑬小津、学芸 9中
 ※上位6校が決勝リーグ進
 出

▽決勝リーグ(20射) 土佐
 8-8高知(競射3-2)▼安
 芸9-9土佐女(競射3-2)
 ▼山田8-8土佐塾(競射2

1-2、3-2)▼土佐12-11
 安芸▼高知5-4山田▼土佐
 女13-8土佐塾▼土佐11-6
 山田▼土佐塾8-7安芸▼土
 佐女14-8高知▼土佐11-4
 土佐塾▼土佐女15-9山田▼
 安芸8-7高知▼土佐女13-
 6土佐▼土佐塾12-6高知▼
 安芸6-3山田
 【順位】①土佐女(広瀬、
 門田、片岡、坂口、萩野) 4
 勝1敗②土佐4勝1敗③安芸
 3勝2敗④土佐塾2勝3敗⑤
 高知1勝4敗⑥山田1勝4敗
 ※同勝敗は的中数による
 (土佐女は3年ぶり25回目の
 優勝)

|| 競技終了

2023年(令和5年)5月22日

バスケットボール

▽女子2回戦 中央138-28
 土佐塾▼中村61-48土佐女▼
 明德103-38小津▼国際66-47
 追手前▼高知94-47東▼高知
 商90-49梶原▼学芸80-37高
 知農▼岡豊153-22幡多農

2023年(令和5年)5月22日

バレーボール

▽D組 小津2-1高専
▼土佐女2-0宿毛
▼高専2-1宿毛

4強出そろっ

▽2回戦 高知2-0岡豊
▼高知商2-0山田
▼高専2-0春野
▼土佐女2-0東
中央2-0高知農
▼須崎総・国際・伊野商・四万十
2-1安芸
追手前2-0小津
▼明徳2-0高知工
▽準々決勝 高知2-0高知商
▼土佐女2-0高専
▼中央2-0須崎総・国際・伊野商・四万十
▼明徳2-0追手前
▽女子準決勝
高知2-0土佐女
中央2-1明徳
▽3位決定戦
土佐女2-1明徳

2023年(令和5年)5月23日 2023年(令和5年)5月22日 2023年(令和5年)5月21日

卓球

▽女子団体予選リーグA組
①土佐女2勝②安芸1勝1敗③中村2敗
※A、B組は2位まで、その他は1位が決勝トーナメント進出
▽準決勝
土佐女3-0宿毛
明徳3-0土佐

明徳3-1土佐女
竹本0-3藤本
上田3-0石川知
水上野田3-2石川実
渡辺3-1石川実
(明徳は3年連続19度目の優勝)

2023年(令和5年)5月21日

▽女子シングルス準々決勝
上田(明徳)3-1近藤(明徳)
▼渡辺(明徳)3-1石川知(土佐女)
▼中本(明徳)3-0瀬島(明徳)
▼石川実(土佐女)3-2西岡(土佐女)
▽準決勝
上田3-1渡辺
石川実3-2中本

上田3
111114
49211
1石川実

▽同ダブルス準々決勝
上田・水野(明徳)3-1平田・藤本(土佐女)
▼中本・瀬島(明徳)3-0西内・八木(土佐女)
▼石川実・西岡(土佐女)3-0近藤・武井(明徳)
▼渡辺・竹本(明徳)3-0岩崎・油野(土佐)

▽準決勝
水上野田3-1中島本
石川実3-2竹渡
西岡岡

水上野田3
1211311
109116
1石川岡実

||競技終了

2023年(令和5年)5月22日

テニス

▽女子団体1回戦 丸の内2-1学芸
▽2回戦 高知3-0丸の内
▼土佐塾2-1土佐女
▼中央3-0追手前
▼土佐3-0国際

▽女子シングルス準々決勝
山中(中央)6-0山中(土佐)
▼渡辺(高知)6-1杉村(土佐女)
▼池内(土佐)6-1田口(土佐)
▼平野(高知)6-2入田(高知)

2023年(令和5年)5月23日 2023年(令和5年)5月21日

山本(土佐女)400個メ3連覇

隅田(春野)も男子1500自V3

県高校体育大会の水泳競技が10日、くろしおアリーナで開幕し、競泳男女16種目を行った。県記録や県高校記録の更新はなかったが、男子1500メートルの隅田貴斗(春野)と女子400メートルメドレーの山本礼羅(土佐女)が3連覇を果たした。

最終日の11日は、同アリーナで競泳男女16種目と、春野プールで飛び込みを行う。



【女子400メートル個人メドレー決勝】4分56秒77で3連覇を果たした土佐女・山本礼羅の背泳ぎ(くろしおアリーナ=森本敦士撮影)

- ▽50メートル自由形 ①仁井心晴(高知商)28秒27 ②高橋(土佐女)28秒57 ③西之内(高知商)28秒96
- ▽800メートル自由形 ①石本夕芽(土佐女)9分55秒32 ②辻中村11分5秒79

- ▽200メートル平泳ぎ ①栗山陽菜(土佐女)2分43秒60 ②平(高知商)2分44秒37 ③森(中村)2分44秒92
- ▽200メートルバタフライ ①岩瀬夕楓(高知商)2分27秒14
- ▽400メートル個人メドレー ①山本礼羅(土佐女)4分56秒77
- ▽400メートルリレー ①高知商(仁井、岩瀬、平、山下)4分5秒18 ②土佐女4分11秒79 ③中村4分39秒73

目指すは全国決勝 山本

○女子400メートル個人メドレー3連覇の山本(土佐女)。昨大会であと0秒19まで迫った県記録の更新に挑んだが、昨年より5秒以上もタイムを落とし(3種目の)平泳ぎあたりからきつかったと苦笑いした。

昨大会の200メートルでは県記録を更新。しかし、腰痛のため四国選手権を欠場し、活躍を期待されていた地元での全国総体に出場できなかった。実はまだ痛みが残っており、少し無理をして泳いでい

る。今回は出場者が1人だけの孤独なレースだったのも、タイムが伸びなかった要因だろう。

「全国で決勝に残りたい。11日は昨年好タイムを出した200メートル。目標達成に向け弾みをつく泳ぎを目指す。(井上太郎)」

2023年(令和5年)6月11日

山本、石本の土佐女勢V3

女子板飛び込みは柳川(土佐女)

競泳では10日の第1日に続き県記録、県高校記録は出なかったものの、女子200メートル個人メドレーで山本礼羅(土佐女)が3連覇を果たし優秀選手に選ばれた。同400メートル自由形の石本夕芽(同)も3年連続の頂点。男子の優秀選手は100メートル、200メートルの平泳ぎを制した安原優輝(高知)。

飛び込みの男子は瓶子礼智(高知商)が高、板とも優勝。女子は高を嶋崎菜乃(土佐塾)が制し、板は柳川小夏(土佐女)が勝った。

- ▽100メートル自由形 ①高橋乙華(土佐女)1分22秒65 ②松本(中村)1分33秒97 ③明神(高知商)1分44秒33
- ▽400メートル自由形 ①石本夕芽(土佐女)4分41秒71 ②大坪(土佐塾)4分43秒94 ③中嶋(国際)5分27秒62
- ▽100メートル平泳ぎ ①栗山陽菜(土佐女)1分14秒37 ②森(中村)1分17秒27 ③平(高知商)1分18秒52
- ▽200メートル個人メドレー ①山本礼羅(土佐女)2分19秒82 ②西之内(高知商)2分34秒26 ③新谷(中村)2分56秒41
- ▽800メートルリレー ①高知商(岩瀬、仁井、平、山下)8分57秒53 ②土佐女9分14秒67 ③土佐10分39秒24
- ▽400メートルメドレーリレー ①高知商(山下、平、岩瀬、仁井)4分31秒90 ②土佐女4分38秒15 ③中村5分5秒92

2023年(令和5年)6月13日

◆飛び込み

- ▽女子3メートル板飛び込み ①柳川小夏(土佐女)356・20点 ②嶋崎(土佐塾)342・25点
- ▽同高飛び込み ①嶋崎菜乃(土佐塾)346・10点 ②柳川(土佐女)313・00点

四国高校選手権

県勢4強ならず

バドミントン

▽準々決勝 新田3-0坂出
 ▼高松西3-1城東 ▼新居浜西3-2土佐女 ▼高松商3-0新居浜東

2023年(令和5年)6月18日

▽女子シングルス準々決勝
 笠井(高松商)2-0田中(土佐) ▼原田(高松西)2-0山脇(土佐女)

2023年(令和5年)6月19日

バレーボール

▽女子1回戦 城南2-0土佐女

2023年(令和5年)6月18日

卓球

卓球

▽準決勝
 明 徳 3-0 尽 誠
 土佐女 3-0 済 美
 ▼決勝
 明 徳 3-2 土佐女

▽同ダブルス準々決勝
 石川実・西岡(土佐女) 3-2 豊永・引地(徳島商)

2023年(令和5年)6月18日

▽女子シングルス準々決勝

上田(明徳) 3-0 武井(明徳) ▼劉(香川西) 3-0 渡辺(明徳) ▼西岡(土佐女) 3-0 中本(明徳) ▼石川実(土佐女) 3-2 石川知(土佐女)

▽準決勝
 上田 3-0 劉
 石川実 3-0 西岡

▽決勝

上田 3
 11 7 14 11
 4 11 12 3
 1 石川実

▽同ダブルス準決勝
 石川岡実 3-0 西川中瀬
 土佐女 明徳島本

竹渡 3
 3 2
 明水 上野 徳

▽決勝
 明徳 3-2 明水 上野 徳

石川岡実 3
 11 11 8 11
 9 7 11 8
 1 竹渡
 本辺

|| 競技終了

2023年(令和5年)6月19日



ホースで放水する生徒たち(高知市棧橋通5丁目)

土佐女子中生が 海保で職場体験

高知海上保安部(高知市棧橋通5丁目)でこのほど、土佐女子中学校の3年生4人が職場体験し、海の安全と環境を守る仕事を学んだ。

同校が11、12の両日、県内約50カ所で行った職場体験の一つ。4人は重さ約10kgのボンベを背負い、ガスマスクを装着して、船内火災で取り残された人の救助や放水の訓練に参加した。窪田真子さん(15)は「消防士のような仕事をしてるの

に驚いた。ボンベにガスマスクを着けると歩くだけで息苦しい」と話した。

他にも、巡視船「さんれい」の操舵室で航海用レーダーの操作やかじ取りを体験したり、密漁の摘発などで行う指紋採取に取り組んだ。

同保安部の安積憲作渉外係長は「海上保安庁は潜水士のイメージが強いが、海洋環境を守ったり、海上で消防や警察のような役割を果たしたり、業務が多岐にわたることを知ってもらいたい機会になった」と話していた。(人見彩織)

2022年(令和4年)10月15日

イタリアの留学生と交流 土佐女子中・高生



書道部員の指導で筆を握る留学生たち(高知市追手筋2丁目の土佐女子中高)

茶道や書道でもてなし

高知市の土佐女子中・高生の生徒が27日、イタリアから高知県立大に留学している男女7人を茶道や書道でもてなした。

7人は9月末に来日。2カ月間、日本語や日本文化を学ぶ予定で、この日は土佐女子中高が交流にと同校に招いた。

留学生たちはまず、浴衣にお着替え。男性陣は「帯の結び目は、真後ろから少しずれた方がカッコいいと言われる」という教員のアドバイスに、帯をキョッキユツとずらしてにんまり。続いて、茶道部員がお手

前を披露した。正座でお茶を味わった留学生は、しびれる足に苦笑い。好きなアニメや食の話で盛り上がった後、書道部員の指導で筆を握り「高知「愛」などの好きな漢字を書いた。

書道部副部長の高校2年生、山中小暖さん(16)は「真剣に取り組んでくれたので、私たちも楽しめた。みんな初めて筆を握ったとは思えないほど字がきれいでした」とにっこり。レオナルド・ポイエさん(26)は「みんな優しく楽しくか

つた。浴衣がかつこよくて、気に入った」とご満悦だった。(玉置萌恵)

2022年(令和4年)10月29日

土佐女、高知工 復活戦へ



県勢3校は、高知商業が決勝に進出した一方、土佐女子と高知工業が敗者復活戦に回り、明暗が分かれた。

「草の感じがめっちゃ上手」「空のグラデーションがきれい」と、口々に1次競技の自作をたたえた土佐女子の選手たち。それぞれが大会での成長を感じた様子だった。作品は、夕日に照らされ、家路につく2人の少年の姿を描いた。口では「ついてくんな」「なら先に行つてやるよ」と言い合うが、2人の影は「一緒に帰ろうよ」「良いよ」と本音を語る、ちよつといい物語だった。太陽や道の色にこだわって、差し替えること数度。メンバーの自信作だっただけに決勝進出を逃すと、メンバーから「もう帰りたい」のぼやき節も。ただ「自分たち史上、一番の出来」と仲間をたたえた部長の3年、渡辺菜月さんは「最初で最後だから、悔いが残らないよう頑張る」ときっぱり話し、夕食の弁当を頬張った。

2022年(令和4年)7月31日



筆で漢字を書き上げて喜ぶ米国の大学生ら
(高知市追手筋2丁目の土佐女子中高)

**県大短期留学生
日本文化を体験**
高知市の土佐女子中高知県立天に短期留学している米国の大学生4人が1日、高知市の土佐女子中高を訪れ、茶道や書道、着付けなどを体験し、生徒と交流した。米東部マサチューセッツ州にあるエルムズ大学の4人で、5月27日～6月9日の日程で高知に滞在している。同大学と県立大は互いに短期で学生を受け入れており、新型コロナウイルスの影響で米国の留学は4年ぶりとなった。

この日、同中高では書道部員8人が指導。初めて毛筆を手にした4人は、「ゆっくり」「うまい」と声をかけられながら漢字を練習し、「愛」「猫」「海」「金」など好きな1字を書き上げた。さらに浴衣を着付けてもらったり、茶室での茶道も体験した。

シャーロット・ミシヨードさん(17)は3年前に米国で県立大生と交流。ドライヤーで毎日髪を乾かすといった習慣や「ただいま」「お帰り」といった言葉を知って日本に関心を持ったという。書道は決まった手順で行うダンスのようで楽しかった。オンラインではできない経験ができてうれしいと話していた。

(加藤風花)

2023年(令和5年)6月2日

プロダンサー熱血指導

Dリーグの6人 県内高校生刺激

3校訪問

日本発のダンスのプロリーグ「D.LEAGUE」に参戦する「SEPTEN I RAPTURES（セプテニ・ラプチャーズ）」のメンバーが23日、県内3高校でダンスレッスンを行った。切れのある動きとともに熱血指導を受けたダンス部員らは「プロはリズム感が全然違う！」と刺激を受けていた。

2021年に東京で始まった同リーグには12チームが参戦。チーム戦による対戦形式でダンスの出来栄を競っている。昨年11月、高知市で行われたスポーツイベントでメンバーが講師役を務めたのが縁で、学校訪問が実現した。

この日は、メンバー6人が高知中央高校や中村高校など3校を訪問。同市の土佐女子中高校では、AGEHAさん(19)と、Harutoさん(21)がワークショッップを行った。

鏡の前で手本を示しながら、ヒップホップの基本的なステップなどをレクチャー。「脇を大きく広げること、体を大きく見せられる(Harutoさん)」「腰の動きを頑張るとか、何かひとつ、今日の目標を立てて取り組み、上達が早いよ(AGEHAさん)」などとアドバイスしていた。

2年の久万喜鈴さん(17)は「動きと動きの合間に制止することの大切さとか、普段意識していないことを学べた」と話していた。

メンバーたちは24日も芸西小、土佐町小、長岡小でワークショッップを行う。

また、チームの運営会社PERFは同日、県とダンスを通じたスポーツ振興の連携協定を結ぶ。同社の柳裕貴社長は「地元の協力を得ながら、スポーツとしてのダンスを盛り上げたい」としている。

(山下正寛)

2023年(令和5年)2月24日

牧野博士をあしらった桜風味のパンをPRする土佐女子高校の生徒ら
(高知市五台山の県立牧野植物園)



桜風味牧野パン あす発売
土佐女高生考案 高知ヤマザギコロポ

パン製造販売の高知ヤマザキ(高知市大津乙)が3月から、牧野富太郎博士にちなんだ菓子パンを中四国で販売する。第1弾は土佐女子高校の生徒が考案した桜風味の3商品。生徒たちは「高知っばさ」と春らしさを感じられるパンに仕上がった」とPRしている。

同社が朝ドラ「らんまん」の放送を前に「牧野博士をもうり立てよう」と、県立牧野植物園と同校に話を持ちかけた。

パンは博士が好きたった桜がテーマ。同校3年の10人が「牧野さんと言えは帽子。帽子パンは外せん」桜の塩漬けをのせてかわいく「パンチが欲しいからクリームはたっぷり」などとアイデアを出し、ホイップクリームが入った帽子パン(希望小売価格162円)▽あんパン(113円)▽蒸しパン(130円)の3種が完成。いずれも桜風味に仕上げた。

2023年(令和5年)2月28日

パッケージには、生徒が描いた「牧野さんの優しさが伝わる」笑顔のイラストや園の写真が採用され、同校の彼末花さん(17)は「パンを食べべて、園に来てください」とのこと。

同社は商品が1個売れるごとに同園に1円を寄付する。2カ月ごとに商品を変える予定で、次回はアシサイをテーマにする予定という。

(浜田悠伽)

永井（土佐女高出）3冠

基本動作GCで10度目V

スポーツチャンバラ 世界選手権

スポーツチャンバラの第46回世界選手権と第3回レディース選手権が11月27日、横浜市の横浜武道館で行われた。世界選手権の基本動作で、土佐女高出の永井（旧姓野村）五月（神奈川県武蔵館ク・五段）がグラウンドチャンピオン（GC）戦で10度目の優勝を飾るな

ど団体、個人合わせて3冠。レディース選手権では楯長剣・長槍・長巻・棒の部で準優勝を飾った。

世界選手権の永井は、3人制の国別対抗団体戦で日本の12度目の優勝に貢献。個人戦のGC戦では挑戦者の細川智穂（東京・挑錬侍館ク）を退け、三段以上でも頂点に立った。

2022年（令和4年）12月7日

新聞音楽コン入賞者公演

門田さん（土佐女子高卒）演奏

川崎市

【東京支社】地方新聞社主催の音楽コンクールの上位入賞者が集う「交流の響き2022」が24日、川崎市で開かれた。本県からはバイオリン奏者の門田智子さん（19）＝土佐女子高校卒業＝が出場し、美しい音色で約440人の観客を引き込んだ。

門田さんは昨年の「下八川圭祐記念 第45回高知音楽コンクール」で下八川賞2位（1位該当なし）に輝

いた。この日はヴィエニャフスキの「モスクワの思い出」を選び、ピアノの伴奏に合わせて情熱的な旋律を響かせた。

3歳からバイオリンを始め、現在は愛知県立芸術大学で学ぶ。門田さんは「多くの人の前で演奏できて楽しかった。聞いた人を楽しくできるのがバイオリンの良さ。将来はその魅力を伝えられる仕事に就きたい」と笑顔で話した。

「交流の響き」は神奈川県新聞社と川崎市が主催し、高知新聞社などの共催で18回目。各地のコンクールで入賞した9人が演奏した。

（浜崎達朗）

2022年（令和4年）9月25日

牧野博士 本借り一筆

土佐女子中高で発見

米学者の世界地理著作 明治15年に

20歳の牧野富太郎（1862～1957年）が借りた英書の借用証書が高知市の土佐女子中高に現存することが分かった。牧野が借りた本は米学者ミッチェルの「地理書」で、同校の前身である「高知共立学校」が所蔵していた。古い書類の中から証書を発見した同校の図書館司書は「この学校にあった本を牧野博士が借りてきたという光栄を伝えていきたい」と感激している。

晩年の著書「牧野富太郎自叙伝」でも、佐川にいた頃に読んだ英書の中の一つとして「ミッチェルの世界地理」が挙げられている。博士は地理にも深い関心があり、少年時代に描いたとみられる日本地図の緻密な模写も残っている。

証書原本を発見したのは司書の高島香里さん(50)。1992年に出版された「高知共立学校資料集」に、牧野が同書を借りた証書があることは記述されていたが、その原本の所在は分からないままだった。ドラマ化などで博士に対する関心が高まっていることもあり、高島さんは原本発見

に一念発起した。

学校の一室に保管されている共立学校時代の資料を探したがなかなか見つからず、古い「学校議事録」に本の借用証書の束が挟まっているのを見つけて出して、その中から牧野富太郎の名が入った証書を確認した。

証書には牧野の直筆で「明治十五年九月十二日 土佐国高岡郡佐川村廿四番地 牧野富太郎 高知共立学校々々長御中」と書かれている。「牧野富太郎」と書かれた部分には線が引かれており、本が返却されたことを示している。ただ、この本自体は見つからない。

証書を確認した県立牧野植物園の藤川和美研究員は「植物分類学にとって地理の知識は不可欠で、その地形からどういう植物があるのかイメージもできる。もちろん博士は世界の地理にも関心を寄せていたんでしょう」と話す。川原信夫園長も「ドラマがきっかけとなって、このように知られていなかった事実が明らかになっている。これからもさまざまな発見があるので」と期待している。

見つけた高島さんは「何が何でも発見するという気持ちで博士の証書に行き着いた。この事実を学校として大切にしていきたい」と喜んでいる。(竹内 一)

◆本紙ウェブサイトの連載「シン・マキノ伝」【3】「精密模写された日本地図」もご覧ください。



2023年(令和5年)6月4日

卓球

県高校夏季大会

▽準決勝

明徳	3-0	追手前
土佐女	3-0	宿毛工

▽決勝

明徳	3-1	土佐女
上田	3-0	平田
中本	0-3	藤本
水上野田	3-1	石川
水野	3-0	石川

▽女子シングルス

2022年(令和4年)8月12日

▽準決勝

藤本	3-2	水中
上田	3-1	野本

▽決勝

上田	3-0	藤本
----	-----	----

▽同ダブルス

石本川	3-2	島本
藤本川	3-0	花瀬
水上野田	3-0	池花

▽準決勝

水上野田	3-1	藤石
------	-----	----

▽決勝

水上野田	11-3, 11-9, 11-7	藤石
------	------------------	----

2022年(令和4年)8月13日

明徳女子・土佐女も全国へ

卓球 全国高校選抜四国予選

卓球の全国高校選抜大会四国予選は5日、香川県坂出市体育館で行われ、男子の明徳義塾が8年連続37度目の優勝を果たした。高知県勢では土佐女も2位に入った。全国大会(3月25、27日・愛知県)には、前年に全国選抜準優勝の推薦枠で四国予選を免除された明徳女子と合わせ、男女3チームが出場する。

▽決勝

香川西	3-1	土佐女
三谷	0-3	藤本
丸橋	3-0	西内
安藤	3-0	藤本
三谷	3-0	石川
安藤	3-0	石川

2023年(令和5年)2月6日

卓球 全国高校選抜大会

▽女子団体1次リーグ「B組」

土佐女	3-0	金沢学院
土佐女	3-1	大付川
土佐女	3-1	樹馬

2023年(令和5年)3月26日

明徳の女子は準々決勝で香ヶ丘リベルテ、土佐女は決勝トーナメント1回戦で四天王寺のいずれも大阪勢に0-3で敗れた。

▽女子団体1次リーグ「B組」

土佐女	3-1	聖和学園
明徳	3-0	福井商

▽同決勝

明徳	3-0	萩光塩学
四天王寺	3-0	土佐女
香ヶ丘リベルテ	3-0	明徳

2023年(令和5年)3月27日

土佐女11年ぶりV

卓球の県高校春季大会第1日は22日、くろしおアリーナで団体戦を行い、土佐女が11年ぶりの優勝を果たした。男子団体は明徳義塾が42連覇した。

土佐女は決勝の明徳戦で、第1単の石川知がストリート勝ち、複の石川実・西岡がフルセットの戦いをものにした。第4単の西岡も勝利し、3-2で激戦を制した。男子

▽決勝

土佐女	3-2	明徳
石川知	3-0	中本
石川実	0-3	上田
石川実	3-2	水上野田
西岡	3-2	水野
藤本	0-3	水野
西岡	3-1	瀬島

2023年(令和5年)4月23日

齋藤(明德)が優勝

石川実(土佐女)も

◆卓球 県中学学年別秋季大会(3日・県民体育館)

▽女子シングルス1年準決勝
駒瀬(明德) 3-0 松本結(土佐女) ▼吉田(明德) 3-0 西岡(土佐女)

▽同3年準決勝 竹本(明德) 3-2 西岡(土佐女) ▼石川実(土佐女) 3-2 渡辺(明德)

▽決勝

石川実 3
11111110
5 7 3 12
1 竹本

卓球

四国中学選抜

▽決勝トーナメント1回戦
土佐女 3-1 白吉(愛媛)
▽準決勝
明德 3-1 土佐女

2023年(令和5年)3月6日

2022年(令和4年)9月4日

久野(土佐女) V

◆新体操 県中学秋季大会(23日・県青少年C)

▽女子個人総合 ①久野杏莉(土佐女) 29・95点(フープ14・50、リボン15・45) ②的場(高知) 28・60点 ③北村(土佐女) 27・30点 ④浜渦(同) 24・90点
※久野杏莉は種目別もともに1位

久野(土佐女) V

◆新体操 県中学冬季大会(6日・県青少年C)

▽女子個人総合 ①久野杏莉(土佐女) 32・35点(フープ15・00、リボン17・35) ②北村(同) 29・45点 ③西原(高知) 28・75点 ④浜渦(土佐女) 25・80点 ⑤筒井(大津) 17・95点
※久野杏莉は種目別もすべて1位

2022年(令和4年)11月7日

2022年(令和4年)9月24日

バレーボール

バレーボール

県中学秋季

バレーボールの県中学秋季大会最終日は28日、高知市体育館などで行われ、男子は横浜Aが8年ぶりの優勝、女子は土佐女が6年ぶり優勝を飾った。

2022年(令和4年)8月29日

土佐女6年ぶり V

県中学新人大会

▽女子決勝リーグ

土佐女 2	香長 2	西土佐 2	高知 2	青柳 2	高知 2	土佐女 2	土佐女 2	土佐女 2
25 25	25 25	25 25	25 25	25 25	25 13	25 25	25 12	25 22
20 16	0	高知	高知	高知	13	20	21	22
0	高知	高知	高知	高知	1	0	1	1
高知	高知	高知	高知	高知	香長	西土佐	高知	香長

2023年(令和5年)1月23日

◆高知地区中学春季大会

▽準々決勝

土佐女 2-0 潮江、学芸 2-0 城東、愛宕 2-0 朝倉、青柳・高知 2-0 城西
▽準決勝
土佐女 2-0 学芸、青柳・高知 2-0 愛宕
▽決勝
土佐女 2-1 青柳・高知

ソフトテニス

3年女子優勝は

北原・西内(土佐女)

◆ソフトテニス 県中学秋季大会最終日(4日・東部コート)

▽同3年準決勝 北原・西内(土佐女) 4-2 池田・中城(朝ヶ丘) ▼加用・沢田(中村西) 4-1 佐藤・植野(野市)

▽決勝 内原 4-2 沢加 田用

2022年(令和4年)9月5日

バドミントン

県高校夏季

土佐女7大会連続

▽準決勝

土佐女 3-1 岡中

土佐女 3-2 土佐

利山 2-0 根脇

仙石 0-2 本坂

西脇 2-0 戸田

山脇 2-0 中田

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

2023年(令和5年)4月23日

土佐女連覇

バドミントン

県中学春季

▽決勝 土佐女 2-1 清水

矢野 2-0 川増

松田 2-0 安増

浜田 0-2 宮崎

森武 2-0 岡崎

久武 0-0 水崎

2023年(令和5年)4月16日

山脇(土佐女)3冠

▽準決勝

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

山脇 2-0 伊森

バドミントン

県高校秋季

土佐女V4

▽準決勝

土佐女 3-1 岡中

土佐女 3-2 土佐

利山 2-0 根脇

仙石 0-2 本坂

西脇 2-0 戸田

山脇 2-0 中田

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

利山 2-0 根脇

2022年(令和4年)11月13日

宮崎(高岡)萩野(土佐女)V

弓道
高校選抜県予選

弓道の全国高校選抜大会県予選を兼ねた県高校冬季大会第1日は5日、県弓道場で個人戦を行い、男子は宮崎希明(高岡)、女子は萩野夏帆(土佐女)が制した。男子は宮崎と2位の岡村悠(東)、女子は萩野と2位の北代知歩(国際)が全国大会(12月23～25日・熊本市)に出場する。

男子の宮崎は予選(8射)を6中で通過し、決勝(4射)は皆中。10中で並んだ岡村との射詰に入り、7本目で決着をつけた。女子の萩野は予選をトップの7中で通過し、決勝は2中。9中で並んだ北代との射詰を1本目で制した。

2022年(令和4年)11月6日

土佐女V3 土佐男子連覇



【女子団体決勝 土佐女一国際】3連覇を果たした土佐女。左から広瀬、詫間、片岡、坂口、萩野(県弓道場二馬場準撮影)

2023年(令和5年)4月17日

弓道
県高校春季

弓道の県高校春季大会最終日は16日、県弓道場で男女の団体戦の残りとして決勝トーナメントを行い、男子は土佐が2年連続優勝。女子は土佐女が3連覇を果たした。

男子の土佐は予選を27中の1位で通過すると、決勝トーナメントは1回戦で東に9-7、準決勝で岡豊に11-8で勝利。土佐塾との決勝は12-8で制した。土佐女は予選を23中の1位で突破。決勝トーナメント1回戦は小津を11-7、準決勝は土佐塾を13-7で破り、決勝では国際を17-5で下した。

水泳

国体 四国予選

16、17日

少年女子が出場権

◆アーティスティックスイミング 国体中四国予選 (17、18日・広島市ひろしんビッグウェーブ)
▽少年女子デュエット ① 吉川・新(広島) 151・127
9点②千田・久保(土佐女高・追手前高) 138・4087点
③小笹・柏木(島根) 138・0366点
※3組が国体出場

2022年(令和4年)7月19日

水泳

県学年別大会

栗山(土佐女中) 50平で県新

水泳の県学年別大会が11日、くろしおアリーナで行われ、女子50^リ平泳ぎで栗山陽菜(土佐女中)が33秒43をマークし、県新記録を14年ぶりに塗り替えた。また、男子200^リ自由形では松田悠成(高知中)が1分57秒20の県中学新をマークした。

2022年(令和4年)9月13日

水泳

四国SC対抗

200個メ山本 県新・県高校新

2023年(令和5年)5月14日



少年女子A400個メ
山本(土佐女高)9位

来年はメダルを
山本

○山本が予選で出した4分58秒88は、8位の選手と0秒94の差。決勝進出と入賞をあと少しのところ逃したわけだが、故障明けということも考えると、よくここまで戻したと言える。

6月の県体で自己ベストの4分51秒35。今大会なら4位入賞に相当する好タイムだった。しかしその後腰を痛め、7月中旬から1カ月はプールにも全く入れなかった。活躍するはずだった地元インターハイも「テレビも途中で見るのをやめた」という。

8月下旬、久しぶりに泳いでみると「やっぱり楽しい」。体の状態も落ち込んでいた気持ちも徐々に戻り、そして今回の結果だ。また高校2年生。インハイも国体少年の部も来年がある。「メダルを取りたい」と力強く目標を語った。(井上太郎)

2022年(令和4年)9月19日

浜田、井上(高知SC)V 県勢6人日本選手権へ

飛び込み

関西選手権

飛び込みの関西選手権が23〜25日、大阪プールで行われ、12〜13歳高飛び込みの男子で、いずれも高知SCの浜田悠希が306・45点、女子の井上優奈が261・35点で優勝を果たした。

シニアの高知SC勢では、山崎佳蓮が女子高飛び込みと3^リ板飛び込みで3位に入ったのをはじめ、男子の瓶子礼智、川村健斗と女子の嶋崎菜乃、井上優奈、柳川小夏の男女計6人が日本選手権出場の標準点を突破した。

2023年(令和5年)6月26日

阿部花論(土佐女高)

ライフル射撃

⑦ 高新スポーツ賞の顔

銃の重さは約1kg。10分先に
ある直徑約15mmの的に照準を合
わせ、75分以内に60発を撃つ。
「最高の一発」は、構えを維持
する体力と集中力、そして精神
力の三拍子がそろって初めて生
まれる。

高校2年の阿部花論は、ユ
ース年代の日本代表にも名を連ね
る国内女子トップの一人。レイ
ザー光線を放つチームピストル
(BP)と、圧縮空気弾丸を
撃ち出すエアピストル(AP)
のスペシャリストだ。

全国高校選抜女子BP2位、
栃木県体少年女子BP2位、東
アジアユース男女混合AP3位
。2022年の実績も輝かし
いが、実は「ぼろ負けしたらど
うしよう」って、そればかり。
銃を見るのもしんどかった「朗
らかな笑顔からは想像できな
い、恐怖と戦った一年だった。

警察官の父親、孝さんは国体
5度入賞のピストル選手で、県
協会コーチ。土佐女中入学時は
テニスや吹奏楽に興味もあつた
が、「身近なのに未知のものだつ
た射撃への好奇心が勝つて」1
年の夏から競技を始めた。

右手で銃を構えた姿勢を1分
間保ち、これを40回繰り返す毎
日の基本練習。箸も持てなくな
るほどきつかったが、専用の的
まで購入してくれた孝さんの情
熱に、「後に引けんなくなってしま
った。

「最高の60発」目指して

愛銃のエラピストルを手に「丁寧銃姿でにっこり」。「メンタル
が豆腐なので、試合中はストレス性の腹痛とも戦っているそう
だ(高知市の春野射撃場 森本敦士撮影)



元々、負けず嫌いな性格。相
手じゃなく、自分だけに負け
たくない」と歯を食いしばつ
た。積み重ねた努力はうそをつ
かない。19年春の全日本ジュニ
アBP大会で女子2位、高校生
を抑えた中学2年生の名前は一
躍、全国にとどろいた。

で74点をマーク。どこに撃つて
も当たつた。最高の射撃で、ジ
ュニアの日本記録を上回るハイ
スコアをたたき出した。

しかし、この頃から自身の思
いと周囲の期待のギャップに苦
しむようになった。「努力を重ね
ても、うまくいく時も駄目な時
もあるのに、周りは『上位に行
つて当たり前』勝たないと意味
がないのか。『もう無理!』って
なつてしまつて...」

体も悲鳴を上げたのだろう
か。やがて、右手首の炎症を発
症。中学3年の秋には手術もし
たが、今も指や関節が固まつて
しまう症状と向き合う。

高校1年時には「一人に会うの
が怖くなつて」、夏場に2カ月ほ
ど銃を置いて、支えてくれたの
は競技を通してできた友人であ
り、ライバルの存在。励まし合
い、競い合う中で、徐々に心身
の健康を取り戻したという。

自身初の全国タイトルをつか
んだ7月の全日本選手権女子BP
。本戦は自身としては「ぼろ
ぼろ」の55点だったが、仲の良
い1つ年上の西田葵(JOCエ
リートアカデミー)と競り合つ
たファイナルは「久々にワクワ
クを味わえた試合でした。ども
に高め合える仲間こそ、何にも
代えがたい宝物だ。

恐怖、葛藤、体調...。多くの
試練と戦つた一年を経て、競技
との向き合い方は変わったのだ
ろうか。「楽しかった。良かった
」と思える瞬間を追い求めて
る感じ」と分析しつつ、やめる
つもりはないですよ。

楽しい瞬間は、「最高の一発」
が決まつた時。大会の大小は関
係ない。60発丸々、それを体験
してみたいじゃないですか。未
知の「最高」を求めて、まだま
だ挑戦を続ける。(横田幸成)

全日本選手権女子チームピストル60発優勝

2023年(令和5年)2月18日

阿部(土佐女高)組混合で銅

ライフル射撃
東アジアユース



阿部(土佐女高)BP準V

県勢5種目V

◆ライフル射撃 四国選手
権(20、21日・春野射撃場)

▽同チームピストル60発
①阿部花論535点⑤伊藤519点

2022年(令和4年)8月23日

2022年(令和4年)10月7日

2022年(令和4年)12月2日